

# 東近江市立愛東北小学校

## 活動テーマ

### 「私たちの未来に つながる今を知ろう！」

#### 実践事例について

愛北小の子どもたちは、身の周りの豊かな自然や環境を守ろうとする地域の人たちや施設とつながって体験活動を行ったり、地域の福祉施設と協力して学習したりしている。自分の生活をふり返り、家庭でも実践できる活動へと取組を広げている。

#### 1 学校環境

本校は、鈴鹿山脈の西側に位置する田畑や果樹園の広がる農村地帯にある。校区には「湖東三山」の一つとして知られる「百済寺」があり、歴史と豊かな自然に囲まれた学校である。

地域の産業は兼業農家が多く、水稻とともに、地形や気候を生かした、ぶどうや梨等の果樹栽培が盛んに行われている。本校児童も実際に梨園に行き、その栽培の一端を体験させてもらっている。

また、「菜の花エコプロジェクト」の発祥の地として全国的にも有名であり、環境に配慮しながら安全で安心な農作物を作る「環境こだわり農業」などの推進に力を注がれている。現在では、あいとうエコプラザ「菜の花館」を拠点として、資源循環型社会をめざす地域づくりが活発に進められている。

#### 2 実践事例

##### (1) 校外清掃活動の取組

農業用水、水鳥の生息地として自然豊かな水鳥公園にもなっている恵美須溜。

5月26日に全校で「はとのご遠足」に出かけた。

班ごとに溜を周回しながらごみ拾いや環境クイズにも取り組んだ。



11月20日学習発表会の参観後に、下校しながら親子で通学路の「クリーン作戦」を行った。

通学路周辺には、ごみも少なく、みんなで環境に気をつけている地域として、とても誇らしかった。



##### (2) 学年の主な活動

ア 6年 環境学習のケナフ栽培、利用

平成9年県教委指定『環境教育モデル校』に参加して以来、地域のボランティアの協力を得ながら、継続的に環境学習を進めている。SDGsの取組の一つとして、地球規模環境問題から地域につながる問題へと関心を持って調べ学習や体験に取り組めるようにしている。

2学期には、児童が関心を抱いて課題追及をしてきたテーマについて、保護者や下学年の児童に発表した。

また、二酸化炭素を多く吸収する植物として、ケナフの栽培や観察、ケナフを利用した手漉き紙による卒業証書が平成10年度より20年以上継続している。



イ 5年 びわ湖環境、たんぼのこ体験学習  
 地域の大きな水田を借り、「たんぼのこ体験学習」に取り組んでいる。春の水田の観察を通して、各自がテーマを持って、調べ学習に取り組んでいる。たんぼでの観察や体験とともに、ボランティアの方の話をまとめ、学習発表することができた。



また、フローティンググスクールの事前学習として、出前授業にてびわ湖の水の汚れの変化から環境を考える学習を進めることができた。びわ湖に流れ込む川の上流に住む自分たちの責任についても考えることができた。



#### ウ 4年 梨の栽培、観察

愛東梨の産地として、地域の梨園にて児童用に梨の木を借り受けている。花や実の観察や、摘果や収穫などの作業を通して、梨農家の方から環境との関係などのお話を聞かせてもらった。

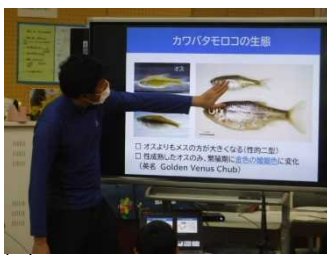


#### エ 3年 びわ湖池の活動

平成7年に新校舎建築時に移設、平成28年ピオトープとして再整備された機会に、絶滅危惧種であるカワバタモロコを放流されて以来、環境学習と保全活動を継続して取り組んでいる。

年々、アメリカザリガニやメダカが増え、カワバタモロコの生育環境が脅かされている。児童が池に入って採取したり、仕掛けを作ったりして駆除を試みている。

また、環境省の鈴木先生に来ていただき、カワバタモロコの生態や生育環境について教えていただき、水草を植栽して、カワバタモロコが産卵しやすい環境を作り出そうと取り組んでいる。



#### (3) 環境委員会の取組

環境委員会では、全校にエコ意識を高めてもらえるように、呼びかけをしている。

その一つが、「エコキャップ回収」であり、各教室に回収箱を設置し、ペットボトルのキャップを持ってきてもらえるようにしている。

回収したキャップは、地域の福祉施設「あいとう和楽」に寄付して、福祉活動に役立ててもらっている。



### 3 成果と課題

それぞれの活動が長年継続されてきているため、今までの活動を知る児童にとっては、4月から主体的に活動を進めていくことができた。

また、高学年においては、継続されてきた活動を大切にしながらも、自分たちで新たな活動が生み出せないか試行錯誤を繰り返すこともできるようになってきた。

特に6年生は、本校の環境教育の集大成として、地域の環境だけにとどまらず、地球環境について考える視点も持ち、自分たちができることから、全校へ、地域へと広げていきたいという意欲が出てきている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動制限がかかり、多くの人々と交流し、思いを伝える場を設定できていない。今後、GIGAスクール構想においてICT活用が進めば、ネットを活用した情報発信も試みるような方法も探していきたい。

そして、児童がこれからの暮らしの中で、さらに環境を意識したより主体的な学習に努めていきたい。

学校名	東近江市立愛東北学校
住所	東近江市百済寺本町1399番地
電話番号	0749-49-0588
E-mail	aikitasho@higashiomi.ed.jp